# さいじょう 文芸広場

## 俳句

横山容子 選

神殿の左右に芽吹く榊(さかき)あり　藤本満恵
良き笑顔桜の下に集ひけり　星加　楓
果樹園の日を集めたる蕗(ふき)の薹(とう)　西村郁子
ゆったりと朝のコーヒー春立つ日　和泉つる子
瀬に浮かび椿は色を深めけり　加藤忠行
桜咲く川に白鷺みじろがず　藤原　博
梅林へ坂道を行き友に会ふ　合田ゆう
馬鈴薯を掘り人生の恙(つつが)なし　真鍋正利

## 川柳

平尾忠文 選

八十路すぎいそぎはせぬが旅支度　近藤忠夫
大壺にどんと挿された猫柳　森本郁子
春日和てんとう虫と話す孫　池田智恵子
合格へ春一番が加勢する　木原恵美子
物忘れ過去も未来も同居する　越智幸子
大掛かりな身辺整理春隣　三谷福美
自家野菜旬には旬の物を食べ　菅伊佐子
花びらも添えて里から梅だより　首藤幹麻呂

## 短歌

藤田虎雄 選

寒厳し鎌のごとき月低く出(い)で明けの明星光り　青木タクヨ
またたく
朝もやに掃いて清める集会所　白き椿は日々　加藤忠行
それを知る
空き瓶に一輪挿した藪椿辱(はずか)しそうに俯(うつむ)いて咲く　森田広司
幼児(おさなご)の娘見ゆるがごとくなり今日の訪(おとず)れその　三好清信
雛祭(ひなまつ)り
湯の中に蓬(よもぎ)落とせば香り立つ深く息して　これぞ春の香(か)　森本郁子
北条の鹿島の渡し魚(うお)光る太刀魚(たちうお)と言うはみごとな魚なり　真鍋正利
点滴でつなぐ命の砂時計枕の下に秘めしお守り　越智幸子
被災地へ竹燈籠の心の字空より届けと我は祈りぬ　岩崎多恵子

### ■俳句・川柳・短歌　作品募集

作品は、読みやすい書体（楷書(かいしょ)等）で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

**応募先**
〒793－8601　明屋敷164
西条市役所　広報広聴課　広報係
TEL 0897－52－1204（直通）

## 歌会始のお題と詠進要領　平成27年は「本」

平成27年の歌会始のお題は「本」と定められました。

**■詠進要領**

①詠進歌は自作の短歌１人１首とし、未発表のもの。
②書式は、半紙（習字用）を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名（本名・ふりがな）、生年月日、性別、職業（具体的に。無職の場合は「無職」）を縦書で書いてください。
③半紙には、毛筆で自書してください。
④病気の方・身体に障害のある方は、代筆（墨書）、ワープロ、パソコンなどを使用できます。この場合、理由（代筆の場合は代筆者の住所・氏名を併せて）を別紙に書いてください。視覚障害のある方は点字での詠進が可能です。

**■注意事項**　次の場合は失格となります。

①お題を詠んでいない場合・短歌の定型でないもの、用紙が縦長の場合②１人で２首以上詠進した場合や毛筆でない場合③すでに発表された短歌と同一か類似していた場合④詠進歌を歌会始の行われる以前に、新聞、雑誌、その他の出版物、年賀状などで発表した場合⑤代筆の理由書を添えた場合を除き、同筆と認められる場合⑥住所、電話番号、氏名、生年月日、性別、職業を書いていない場合、その他詠進要領によらない場合。

**■宛先**　封筒に「詠進歌」と書き添え、９月30日(火)（消印有効）までに「〒100－8111　宮内庁」へ郵送してください。

**■問合せ**

郵便番号・住所・氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて、９月20日(土)までに宮内庁式部職へ郵送でお問い合わせください。また、宮内庁のホームページをご参照ください。　URL http://www.kunaicho.go.jp/